

議会だより

元気いっぱい運動会



誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
公明党市会議員団	2
新風ねやがわ議員団	3
日本共産党市会議員団	4
大阪維新の会議員団	5
新生ねやがわクラブ議員団	6
議決結果一覧	7

9月定例会を開催

- 国民健康保険の基金を設置
～財政の安定化を図る～
- 議員定数を3人削減
～次の選挙から24人に～
- 決算審査特別委員会を設置

平成29年9月定例会

寝屋川市議会は、9月4日から9月22日までの19日間にわたり、平成29年9月定例会を開催しました。この定例会では、市長から提案された24件の議案のほか、議員が提案した条例等3件、意見書2件を審議しました。

また、一般質問は、9月13日から15日の3日間行い、23人の議員が市政について質問しました。

決算審査特別委員会を設置

9月定例会に提案された、平成28年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置し、10月中旬に審査を行いました。

委員構成

委員長 北川 光昭 **副委員長** 村上 順一
委員 住田 利博、高見 雄介、池 真一、
 森本 雄一郎、中林 和江、前川 奈緒、
 杉本 健太、松本 順一（定数10人）

決算審査とは

議会が前年度会計の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することを言います。

議案の概要

寝屋川市議会議員定数条例の一部改正

市議会議員定数を次の選挙から現行27人から24人に削減するため、条例の一部を改正するものです。

寝屋川市基金条例の一部改正

国民健康保険の財政の安定化を図り、その健全な運営に資することを目的として、寝屋川市国民健康保険財政運営安定化基金を設置するため、条例の一部を改正するものです。

寝屋川市税条例の一部改正

地方税法の改正により、固定資産税等の特例措置及び軽自動車税の特例措置の見直し等が行われたことに伴い、所要の規定の整備を行うため、条例の一部を改正するものです。

寝屋川市身体障害者及び知的障害者の医療費の助成に関する条例等の一部改正等

福祉医療費助成制度に関する大阪府の制度改正を勘案し、医療費助成制度の見直しを行うため、条例の一部を改正する等を行うものです。

寝屋川市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定

公の施設に係る指定管理者の指定の手續等について、指定管理者制度

を導入する全ての施設に通ずる事項を統一的に定めるため、条例を制定するものです。

財産の取得（災害時用備蓄品）

災害時における食糧その他の生活必需品を避難所である市立小中学校に備蓄するため、アルファ化米（炊き出し用）3万1200食などを取得するものです。

一般会計補正予算

平成29年度一般会計補正予算（第2号）は、17億2421万6000円を増額するもので、主な内容は次のとおりです。

○財政調整基金積立金の追加
〔9億2138万9000円〕

○くらし・笑顔創生基金積立金の追加
〔3億9000万円〕

○待機児童ZEROプラン推進事業に係る経費の追加
〔4298万4000円〕

○小中学校の就学援助に要する経費の追加
〔3925万6000円〕

これにより、平成29年度一般会計予算歳入歳出の総額は、928億5429万9000円となりました。

意見書

9月定例会で可決し、関係大臣等に送付した意見書は、次のとおりです。

◆受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書

◆国民健康保険の保険料率の在り方に関する意見書

公明党市会議員団

笑顔がつながる

ねやがわのまちづくりへ

野々下 重夫	池添 義春	岡 由美	梶本 孝志	住田 利博	高見 雄介	村上 順一
--------	-------	------	-------	-------	-------	-------

学校体育館へのエアコンの設置

問 学校体育館におけるエアコン設置の必要性及び今後の進め方は。
答 必要性については、財源の確保等を含め、今後の課題であると認識している。

今後の進め方については、他の手法も含め、今後の個別の施設計画の策定において、検討していく。

小中学校のAEDの屋外移設

問 一層の安全安心の対策を進める上で、小中学校の屋内設置のAEDを屋外に移設することを検討すべきと考えるが、見解は。
答 現在、屋外に設置している学校は10校であり、屋内設置の学校においても、緊急時に使用できるように、周知に努めており、今後、屋外設置に向けて検討していく。

ウォータークーラーの設置

問 学校での水分補給について、ウォータークーラーの設置が必要と考えるが、見解は。
答 近年増加している熱中症対策の一つになるものと考えている。

図書館設置の必要性について

問 東寝屋川駅周辺のまちづくりを進めるに当たり、駅前に図書館を設置する必要性について、見解は。
答 駅前に立地することで、より効果があると思われるが、他の公共施設も含め検討していく。

中学生のピロリ菌検査の実施

問 ピロリ菌検査を中学生から実施する必要があると考えるが、見解は。
答 中学生等若年者に対する現行のピロリ菌検査は、二次検査での身体への負担や再発可能性などまだまだ課題が多い状況にあり、他市の事例等も勘案しながら研究していく。

子ども宅食の取組について

問 子どもの貧困対策として、NPOなどと連携した「子ども宅食」の取組が必要と考えるが、見解は。
答 財源にふるさと納税を活用するなど先進的な取組と認識している。
 10月から新たに「子ども食堂支援事業」を開始するため、その効果や課題等を検証し、先進的な施策についても、調査・研究していく。

留守家庭児童会の土曜開所

問 留守家庭児童会の土曜開所について、現在の進捗状況は。
答 8月中旬から保護者に対してアンケート調査を実施し、現在、学年別ニーズや地域別ニーズなどを整理している。

今後、早急にアンケートの調査結果等を踏まえ、平成30年度の土曜開所に向けて取り組んでいく。



土曜開所が検討されている留守家庭児童会

地域猫サポーター制度

問 動物愛護について、地域猫活動の取組支援を進めるに当たり、地域猫サポーター制度という登録制の組織を立ち上げ、地域と行政との橋渡しをすべきと考えるが、見解は。
答 ボランティアの豊かな経験や知識を活用することは有効であり、今後、各市の事例等を踏まえ、調査・研究していく。

防災タイムライン連携協定

問 災害の発生を前提に、地震に対して、防災関係機関や住民が連携する協定について、見解は。
答 今後、積極的に検討していく。

大阪万博誘致について

問 万博の開催は、市をアピールできる機会と考えるが、現在予定されている誘致に向けた市の取組状況は。
答 市として、2025日本万国博覧会誘致委員会に参画することにも、市ホームページにおいて誘致委員会の取組を掲載し、市庁舎にポスターを掲示している。

里親制度の推進について

問 児童福祉法の改正に伴い、都道府県の里親業務が具体的に記されるようになり、府においても里親制度が推進されているが、府への協力について、見解は。
答 各関係機関での研修の開催、ポスター掲示、チラシの窓口設置の協力依頼を行う。

今後、市内の里親を増やす取組を府と連携し進めていく。

マンホールトイレの設置

問 災害時に避難場所となる小中学校や公民館などにマンホールトイレを設置すべきと考えるが、見解は。
答 地域防災計画の完成後、設置箇所や設置数等を検討し、地震防災アクションプランへ反映していく。

新風ねやがわ議員団

暮らしの充実、安全安心の拡充
市民生活を守る新たな提言！

北川	池	金子	北川	廣岡	森本	山崎
光昭	真一	英生	健治	芳樹	雄一郎	菊雄

寝屋川まつりの開催について

問 3年ぶりに、夏の開催となった寝屋川まつりだが、本市としての見解や今後の取組は。

答 2日間で10万5000人の参加があり成功裏に終えることができた。市民模擬店を対象としたアンケート結果などを実行委員会で検討し改善していく。

国民健康保険料引下げについて

問 保険料低減特別繰出金を全額繰り入れた場合、モデル世帯の保険料を試算すると保険料が更に3万6556円引き下がる結果となる。本市の見解は。

答 正確な試算は困難だが、仮に示した資料、平成29年度当初賦課の数値に一般会計繰入金5億5000万円を医療給付費分へ繰入れ積算すると当初賦課より、3万8000円低い保険料となる。

防災対策について

問 停電による被害想定や長時間停電や夜間停電時の指示命令系統はどのようにになっているのか。

答 ライフラインが止まることにより、人的、物的被害が生じる。指示命令系統については、被害状況に応じ危機管理対策本部等の設置や関係機関と連携を図っていく。



保育所の風景

保育料無償化について

問 4歳5歳の保育料無償化が現実的には導入しやすい。将来的には保育料無償化のステージに進んで頂きたいと考えている。市の見解は。

答 待機児童数や施設の状態を勘案し、国の3歳から5歳児における幼児教育無償化の動向や本市の財政状

況を見据え、適切な対応に努める。

子どもを守る取組について

問 本市の児童虐待相談件数が多い。どのように分析し、今後どのような対策を予定しているのか。

答 市民や関係機関の児童虐待に対する意識が高く、相談・通告が多いことが要因の一つ。対策は、新たに設置する子育て世代包括支援センターにおける妊娠初期から切れ目のない支援との連携を図り、更なる未然防止等に取り組んでいく。

生活保護行政について

問 本市の保護率が高いことが本市の財政や市政運営にどのような影響を与えているのか。

答 被保護者に係る社会保障関連経費の増加及びケースワーカーや査察指導員などの職員配置が必要、関連経費の増加等の状況により財政運営及び市政運営の硬直化を招く一つの要因になると考えている。

これからの京阪寝屋川市駅について

問 中核市を目指す本市にとって駅前の賑わいは必須であり、これからの駅前の在り方について市の見解は。

答 企画の観点からは、更なる都市機能の集積や様々なイベント、施設の効果的な活用など駅周辺のまちづくりについて庁内連携し継続的に研究する。まちづくりの観点から、市全体の拠点として商業、医療、子育て支援施設を誘導していく。

外来種と生態系について

問 特定外来種等の早急な対策及び市民への注意喚起、周知方法は。

答 市民や市民団体からの情報提供に迅速に対応し、国、府と連携していく。周知が必要と判断した場合、関係各課と連携して対応していく。

国民健康保険の悪用について

問 国民健康保険の保険者として、最近頻発している「入国目的を偽ってビザを取得し、国保に加入した外国人による国民健康保険の悪用」についてどのように捉えているのか見解を伺う。

答 報道等で、そのことを把握している。本市としては現状、該当する案件はないが、このような状態が続くことは懸念している。

問 日本の医療制度の「魅力」が高まっていることが悪用の背景にある。厚生労働省は国民健康保険加入や給付の際、厳正な審査や確認を行うなどの対応策を検討している。本市に厚生労働省から情報収集の要請等があったのか。また、本市の国保に加入する外国人のうち、高額医療を受け、その後帰国された案件はあるか。

答 平成29年3月に調査依頼があり、平成27年11月から平成28年10月までの間に80万円以上の診療を受けかつ資格取得日が診療月から6か月以内の方を報告、外国人の高額医療について抽出は困難だが調査期間での該当する案件はない。

日本共産党市会議員団

子育てしやすいまちへ

学童・就援の施策が前進

太田 徹
石本 絵梨菜
中林 和江
西田 昌美
前川 奈緒

学童保育の土曜開所を

問 土曜開所のスケジュールは。
答 保護者アンケートの調査結果等を踏まえ、30年度開所に向けて取り組む。
問 4月からの開所の予定か。
答 1学期の早い段階で開所したい。

中学校給食の見直しを

問 温かい中学校給食の見直しを急ぐべきだが、今後のスケジュールは。
答 在り方検討委員会等において、実施に向けた検討を進めていく。

本市の子どもの貧困対策を

問 本市の子どもの実態把握を。
答 調査は、府の施策の方向性を踏まえ、必要性も含め検討する。

あかひき・ひばり園の療育を守る

問 30年度は引き継ぎ最後の年で、より手厚い引継ぎ体制を求めるが。
答 保護者、現場職員等の意見を丁寧に聞き、適切な体制を検討する。
問 今後も担当ライン常駐を求める。
答 6年目以降の在り方を検討する。
問 あ・ひ園で市専門職の育成を。
答 市職員の研修等の場として活用することには有益と考える。

ごみ減量へ市民とともに

問 経験豊かな職員の継続的な確保が療育水準を守ることにつながる。次期指定管理料については一定の配慮が必要であると考えるが、見解は。
答 実情を踏まえた検討を進める。
問 ごみ減量プロジェクトの4か月間で957トン減量。市民への発信や出前講座開催を地域で広げるべき。
答 9月15日付で全自治会へごみ減量推進と出前講座の回覧文書を送付。
問 可燃ごみ減量で経費は。
答 今年度目標3000トン減量で約3300万円の経費削減となる。



ごみ収集の様子

国民健康保険について

問 市独自の減免制度は維持を。
答 府との調整会議で本市特有の所得150万円以下世帯が多いなど事情を説明し現行制度の維持を求める。
問 府内統一基準を守らない自治体に対するペナルティへの考えは。
答 今後協議される内容を見極めながら、本市特有の状況等を説明していく必要があると考えている。

使いやすい介護保険制度へ

問 30年度は保険料が引き上がる予定。減免制度が必要だが、見解は。
答 次期介護保険事業計画策定中であり検討課題の一つとしている。
問 特別養護老人ホームの待機者は約460人。解消への取組は。
答 29年度中に80床の特別養護老人ホーム1か所を整備予定である。

市職員の適正配置を

問 29年4月に月100時間を越す時間外勤務をしている職員が39人いる状況の認識と改善など対策は。
答 時間外勤務の常態化など健康管理等が憂慮される状況。「長時間労働抑制システム」の全庁的な導入の検討など長時間労働の是正に取り組む。
問 平成30年度から31年度で59人の職員増としているが、中核市移行に向けた市民サービス向上と職員の健康を守る職員配置となっているのか。
答 第6期定員適正化計画を踏まえ適正な職員配置を行っていく。

◆◆◆ 専門的事項に係る調査会議を設置しました ◆◆◆

- 座長** 駒林 良則氏 (立命館大学教授)
副座長 名取 良太氏 (関西大学教授)
委員 土山 希美枝氏 (龍谷大学教授)
西宮 啓介氏 (税理士)
丹羽 功氏 (近畿大学教授)

市議会では、議員報酬、議員期末手当、議員の定数及び政務活動費の額を検討していくに当たり、学識経験のある方等にその調査を依頼するため、9月市議会定例会で会議の設置を決定しました。

会議は、平成29年10月から行い、平成30年3月には議長へ調査結果を報告する予定です。

会議は、どなたでも傍聴していただけます。開催日は、市ホームページで随時、お知らせします。

大阪維新の会議員団

街いっぱいにあふれるやさしさ
笑顔の広がる寝屋川市へ

中川 健
坂光 勇哉
杉本 健太
元橋 理浩

子どもの貧困について

問 子どもたちの将来の可能性を上げることができると環境や支援を拡充すべきと考える。大阪府の貧困実態調査について市の所見は。

答 貧困世帯ほど生活上の課題を抱えている数値が高く、子どもの生活面、健康面、教育面等の様々な分野に影響を与えていることが示されており、府内市町村共通の大きな課題であると認識している。

問 経済的な事情でスポーツや文化芸術などの習い事に通えない子どもに対して市の見解は。



答 子どもが心身共に健やかに成長する上で、様々な体験は重要なものであると認識している。現在、小学校の放課後に全ての児童が参加できる放課後子供教室事業や囲碁・将棋活動推進事業を実施している。

児童扶養手当の受給について

問 児童扶養手当の受給について不正の疑いがある家庭や市民からの通報に対してどのような調査が行われているのか。

答 民生委員・児童委員の協力による現状確認や面談などの調査を行っており、今後も適正な支給に努めていく。

留守家庭児童会について

問 子ども・子育て支援事業計画は平成27年に策定された。需要見込みの修正や計画の弾力的な運用などについて市の見解は。

答 高学年の受入れや延長保育等も含め、入会児童数の状況も見据えながら計画の弾力的な運用が必要であり、対応に努めてきたと考えている。

手話言語条例について

問 全国の多くの自治体で制定が進

◆ 全員協議会 ◆

市政に関する重要事項等について検討するため、議員全員が集まって開かれる会議です。平成29年7月に市地域防災計画改訂について、8月に市中核市移行基本方針（素案）について全員協議会を開催しました。



められている条例についての本市の取組は。

答 相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す上で重要であると認識しており、当事者団体との意見交換を通じて、条例制定について検討を深めていく。

ヒアリングについて

問 特定外来生物「ヒアリ」に対する市の対応は。

答 市内でヒアリが発見された場合の対応と対策については、環境省近畿地方環境事務所や寝屋川警察署と連携して駆除するとともに、市ホームページや各小中学校へ「注意・啓発リーフレット」の配布などにより市民への周知・啓発を行っていく。

◆ 中核市移行調査特別委員会 中間報告書を議長へ提出 ◆



寝屋川市は、中核市への移行に向けた取組を進めており、市議会では、中核市移行調査特別委員会を設置し、これまで、市財政への影響、保健所設置に関する諸課題や「市中核市移行基本方針（素案）」等について、調査検討を行ってきました。

これまでの調査結果をもとに、とりわけ重要と考える事項を取りまとめ、平成29年8月に中間報告書を議長へ提出しました。中間報告書は、市議会ホームページからご覧いただけます。

新生ねやがわクラブ議員団

「安全・安心」への探求

現場を歩き、現場で聞く

松本 順一
井川 晃一
馬場 才
板東 敬治

空き家の対策

問 空き家の所有者に向けた、対策内容の周知が大切では。

答 空き家対策の内容は広報誌やホームページで広く周知をし、所有者へは個別に通知していく。

問 空き家バンクや相談窓口が必要と考えるが。

答 空き家バンクの検討のため、「大阪版・空き家バンク」の有効性等について、検討を進め、相談窓口は引き続き、担当部局で相談に応じる。

耐震改修の促進

問 1階鉄筋コンクリート造、2・3階木造住宅の棟数は、約9400棟。

答 その構造の耐震化を促進するには、1階と2階の接合部の工法に課題があることから、効果的な耐震改修工法の検討を進めていく。

香里園地域の浸水対策

問 内水ハザードマップで浸水が想定されている地域の主な原因の一つは、ポトルネックと考えるが。

答 その可能性は否定できない。京阪本線の軌道下を横断する水



特定空家の住宅の例

路は、全てポトルネック。高架化の工事に合わせ解消すべきでは。

答 解消していく。

問 京阪本線沿いの側道に1433ミリ対応の雨水管を整備することで、浸水被害が軽減されるのでは。

答 期待できる方法の一つと考える。

成田西町の浸水対策

問 水路の越流はポトルネックが原因と考える。橋梁の改良が必要では。

答 地元自治会と協議していく。

JRR東寝屋川駅周辺のまじゅくり

問 寝屋川公園を、大阪府から譲渡、

又は管理主体になることの考えは。
答 トータルコストを含め、メリットやデメリットを十分に勘案する必要がある。

窓口のワンストップサービス

問 各家庭のパソコンで、手続きができる体制が「究極のワンストップサービス」と考えるが。

答 行政サービスの電子化は、対人公共サービスの在り方を研究しつつ、順次推進していく必要がある。

問 マイナンバーカードの利用拡充で、更なるワンストップサービス体制が構築できるのでは。

答 カードの多目的利用について先進市の取組等を調査・研究している。実施に向けた検討を進めていく。

議会運営委員会 代表者会議

- 通年議会、一問一答方式等について研究・検討 -

平成29年9月に、議長から、議会運営の重要事項である「通年議会」「一般質問における一問一答方式」「所管事項質問」の3項目について、議会運営委員会にて調査するよう諮問があり、議会運営委員会 代表者会議で調査研究していただくこととなりました。

代表者会議は、どなたでも傍聴いただけます。開催日は、市ホームページで随時、お知らせいたします。

議会日誌

【7月】
18日 中核市移行調査特別委員会
24日 全員協議会
27日 中核市移行調査特別委員会
31日 幹事長会

【8月】
4日 中核市移行調査特別委員会
22日 全員協議会
29日 議会運営委員会

【9月】
4日 本会議（第1日）
5日 決算審査特別委員会
6日 議会広報委員会
11日 厚生常任委員会
13日 文教常任委員会
14日 建設水道常任委員会
15日 本会議（第4日）
20日 本会議（第3日）
21日 本会議（第2日）
22日 本会議（第1日）

【10月】
4日 議会広報委員会
26日 議会運営委員会代表者会議
22日 幹事長会
22日 本会議（第5日）
21日 議会運営委員会
21日 建設水道常任委員会協議会
21日 総務常任委員会協議会
21日 文教常任委員会協議会
21日 厚生常任委員会協議会



9月定例会 議決結果一覧



議案番号	件名	議決結果
認定第1～7号	平成28年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他4特別会計、2公営企業会計）	閉会中の継続審査
報告第8号	平成28年度寝屋川市一般会計継続費の精算報告	報告終結
報告第9号	平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告終結
議案第66号	寝屋川市基金条例の一部改正	可決
議案第67号	寝屋川市税条例の一部改正	可決
議案第68号	寝屋川市手数料条例の一部改正	可決
議案第69号	寝屋川市身体障害者及び知的障害者の医療費の助成に関する条例等の一部改正等	可決
議案第70号	寝屋川市立斎場条例の一部改正	可決
議案第71号	寝屋川市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定	可決
議案第72号	寝屋川市公の施設に係る指定管理者選定委員会に関する条例の制定	可決
議案第73号	平成29年度寝屋川市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第74号	平成29年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第75号	平成29年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第76号	平成29年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第77号	財産の取得（災害時用備蓄品）	可決
議案第78号	平成28年度寝屋川市水道事業利益剰余金の処分	可決
議案第79号	平成28年度寝屋川市下水道事業利益剰余金の処分	可決
議案第80号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
議員提案第6号	専門的事項に係る調査	可決
議員提案第7号	寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	否決
議員提案第8号	寝屋川市議会議員定数条例の一部改正	可決
議員提案第9号	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書	可決
議員提案第10号	国民健康保険の保険料率の在り方に関する意見書	可決

※議案内容・議決結果は、市民情報コーナー、市議会ホームページからご覧いただけます。

誌面の都合上、「ねやがわ議会だより」に掲載できなかった情報も、ぜひご覧ください。市議会の概要や会議の日程、本会議の録画映像、本会議や委員会の会議録など、様々な情報を掲載しています。



市議会ホームページQRコード

市議会ホームページもご覧ください

12月定例会の日程（予定）

- 12月4日（月）＝本会議
- 5日（火）＝厚生常任委員会、文教常任委員会
- 6日（水）＝総務常任委員会、建設水道常任委員会
- 13日（水）～15日（金）＝本会議（一般質問）
- 19日（火）＝本会議

※いずれも午前10時から。議事の都合で変更される場合があります。請願・陳情の提出期限は、11月24日（金）です。